

県民の皆さんへ

「平成 27 年版 成果レポート～成果の検証と改善に向けた取組～」を公表します。

この「平成 27 年版 成果レポート～成果の検証と改善に向けた取組～」は、平成 26 年度に「みえ県民カビジョン・行動計画」に基づき取り組んだ事業の成果を検証するとともに、平成 27 年度の取組の方向とめざす目標値を、県民の皆さんにご報告し、今後の県政運営に対するご意見やご提案をいただくことを目的に作成しました。

平成 26 年度は 20 年に一度の神宮式年遷宮「遷御の儀」の翌年にあたる「おかげ年」であり、神宮の年間参拝者数は 2 年連続して 1 千万人を突破するなど、三重県の恵まれた自然、豊富な歴史・伝統文化や培ってきた技術などの恩恵が感じられた 1 年となりました。

また、平成 27 年 6 月 5 日には、「伊勢志摩サミット」の本県での開催が決定されました。サミットという最高峰の国際会議の開催は、国際観光地としてのレベルアップだけでなく、国内外の人びとに対する本県の知名度を向上させる絶好の機会であり、地域の総合力の向上にもつながるものと考えています。今後、国・地元市町・関係団体等の皆さんと連携し、サミットの成功に向けて全力を尽くしてまいります。

こうしたこともふまえ、平成 27 年度は「みえ県民カビジョン・行動計画」の最終年度である 4 年目であり、本年 7 月に定めた「平成 27 年度三重県経営方針」では、政策展開のポイントとして、①まち・ひと・しごと創生の推進～希望がかない、選ばれる三重への挑戦～、②少子化対策 Ver.2～結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重への挑戦～、③三重県のブランドカアアップ Ver.2～魅力を発信し続ける三重～、④「伊勢志摩サミット」の開催に向けた全県的な取組の展開～地域の総合力向上を目指す三重への挑戦～、の 4 点を掲げ、「みえ県民カビジョン・行動計画」に示した取組を着実に推進することで、県民の皆さんにより一層の成果を届けることができるよう、県庁全体が一丸となって県政運営に取り組んでいるところです。

三重県経営方針に掲げた政策展開のポイントをはじめ、県政の諸課題にしっかり取り組み、成果を届けていきたいと考えていますので、県民の皆さんにおかれましては、忌憚のないご意見をいただくとともに、今後の県政運営に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 27 年 7 月

三重県知事 鈴木 英敬